

第2期熊本県水道ビジョン案（概要）

1. 策定の目的

○第1期熊本県水道ビジョン
(H26年度策定、目標年度：R5年度)

・国の新水道ビジョンを踏まえ、県内水道事業が、持続して安全で良質な水道水を安定的に供給するために目指すべき方向性を提示

○平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨等の自然災害の発生
○半導体関連企業の集積
○熊本県水道広域化推進プラン(R5年3月)の策定 等

○第2期熊本県水道ビジョン
対象地域：県内全域
目標年度：R15年度
(R6年度から10年間)

・地域の現状や水需給予測等を分析・評価し、今後の施策や水道事業の方向性を提示

第2期熊本県水道ビジョン「基本理念」

水の国 くまもと
—安全で強靱なくまもとの水を未来へ、水の供給をいつまでも—

2. 現状分析～課題抽出～実現方策

○第1期ビジョンの基本方針：①「安全・安心な水道」、②「災害等に強い強靱な水道」、③「将来も持続する水道」

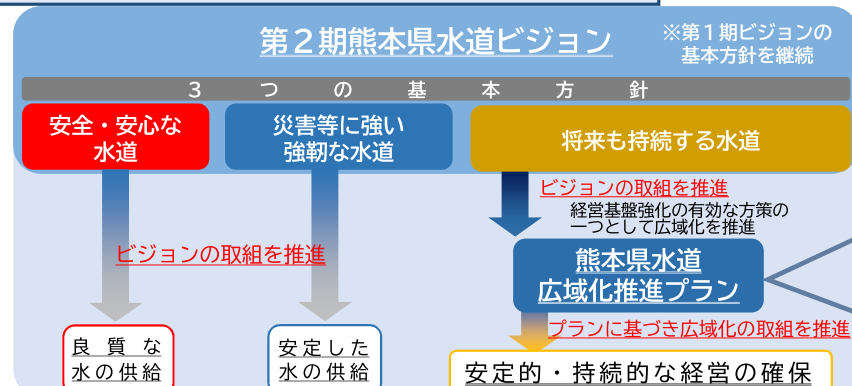
○県内水道事業の現状を分析・評価し、「水道の理想像」の実現に向け、以下の実現方策（対応策）を第2期ビジョンにおいて推進

水道の理想像

時代や環境の変化に対して的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、だれでも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道

	現状・課題 ※【 】書きは年度	実現方策・施策メニュー（対応策）
安全	<p>○水道水源の約8割が地下水で飲用井戸も多く、半導体関連企業の集積を契機に県民の地下水への関心が高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的にPFOS及びPFOAの目標値超過事例あり ・水安全計画^{※1}の策定率が低い（策定率 約16%【R5】） ・水道未普及地区の存在（県民の約10%が居住【R4】）など 	<p>強化 水質の監視（水質検査の実施）</p> <p>継続 水安全計画^{※1}の策定（目標：策定率100%）</p> <p>継続 運搬送水等の多様な手法による水供給の検討 など</p> <p><small>※1 水質に悪影響の可能性のある危害要因を分析し、管理対応する手法を定めた計画</small></p>
強靱	<p>○H28年熊本地震、R2年7月豪雨などの災害を経験し、施設の耐震化等が進められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメント^{※2}実施率が低い（約59%【R5】） ・水道管の老朽化が進行し、将来を見据えた更新が必要 水道管の老朽化率（管路経年化率）11.3%【H26】→16.8%【R3】 ・耐震化の遅れ 耐震化計画策定率：約40%【R4】 水道管の耐震適合率：県31.8%、全国42.3%【R4】 ・危機管理マニュアル等の策定の遅れ 危機管理マニュアル（地震）策定率 約31%【R5】 BCP^{※3}策定率 約20%【R5】 など 	<p>強化 アセットマネジメント^{※2}の実施（計画的な水道管更新など）（目標：実施率100%）</p> <p>強化 耐震化計画の策定・耐震化の推進（目標：策定率100%）</p> <p>強化 危機管理マニュアル及びBCP^{※3}の策定（目標：策定率100%） など</p> <p><small>※2 中長期にわたり水道事業を安定的に継続するための長期的視野に立った資産管理の手法</small> <small>※3 事業継続計画（Business Continuity Plan）をい、災害等においても、水道事業への影響を最小限に抑えながら事業継続できるよう、速やかに復旧等するための対応策及び行動手順を定めた計画</small></p>
持続	<p>○今後も人口減少に伴う料金収入の減少や老朽化に伴う施設更新費用の増加等が見込まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況のさらなる悪化 ・職員の人員不足、管工事業者減少 ・広域化の取組みの具体化 ・県民への水道事業に関する情報の周知不足 など 	<p>強化 水道料金の適正化（コストに応じた料金引上げ等）</p> <p>強化 ウォーターPPP^{※4}など、官民連携の導入検討等</p> <p>新規 県建設産業振興プランに基づく担い手確保の推進</p> <p>新規 県水道広域化推進プランに基づく広域化の推進</p> <p>強化 県民への情報提供（水質・料金等の現状・課題） など</p> <p><small>※4 官民連携（PPP）の手法の一つで、従来の包括的民間委託に「維持管理・更新マネジメント」、「原則10年の長期契約」などを加えた形式の官民連携手法</small></p>

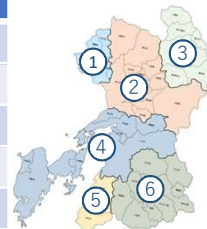
第2期熊本県水道ビジョンと熊本県広域化推進プランとの関係



広域化の取組みに係る地域区分

第2期ビジョン及び熊本県水道広域化推進プランの地域区分

- | 地域名 |
|----------|
| ①有明地域 |
| ②熊本中央地域 |
| ③阿蘇地域 |
| ④環不知火海地域 |
| ⑤芦北地域 |
| ⑥球磨地域 |



3. フォローアップ

- 市町村等における取組み（優先順位が高い事項）について、進捗管理表による進捗把握（年1回）
- ヒアリングによる課題把握（2年に1回程度）→これらについてとりまとめのうえ、随時公表
- 市町村等の実情に応じ、寄り添った支援の実施（先事例の共有、市町村間の調整など）
- 中間評価・見直し（ビジョン5年目）
- 第2期ビジョンの総括・最終評価、第2期以降の施策等の検討（ビジョン最終年度）